



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Follow Your Rotary Dream

「ロータリーの夢を追い続けよう」

1998～99年度・国際ロータリーテーマ/ジェームス・レイシー会長

「明かるいクラブと豊かな人生」

1998～99年度・東京新南ロータリークラブテーマ/宮武 保義会長

本日の例会 11月6日 第583回例会

◎次年度(1999～2000年度)理事・役員候補者指名

◎卓話

「ロータリー財団月間に因んで」

第2750地区ロータリー財団委員長
東京城西ロータリークラブ会員

竹尾 正巳氏

先週報告 10月30日 第582回例会

◎卓話は、富士ゼロックス(株)海老名事業所見学と横浜中華街「順海閣」にての親睦会のため、ありませんでした。

◎委員会報告

☆親睦活動委員会(梶内副委員長)

親睦ゴルフ会のご案内

12月2日(水)、相模カンツリー倶楽部におきまして、当クラブの親睦ゴルフ大会が行われます。まだ、参加申し込みをされていない方はご連絡願います。

火曜会のご案内

11月の火曜会は、11月10日(火)18:00より、東京全日空ホテル37Fスカイバー「アストラル」で行われます。パネラーは石東嘉男会員で、テーマは「医者が患者になった日」です。多数の御参加をお願い申し上げます。

☆ロータリー研究会(小杉(眞)世話役)

第3回ロータリー研究会を、11月20日13:30～15:30、当ホテル36Fペガサスにて、講師:田辺賢三会員で開催いたします。ご参加のほどよろしくお願い致します。

◎出席報告

- 会員73名/出席52名・欠席21名(出席規定免除者4名)
- ビジター8名(敬称略・順不同) 吉澤審一(東京)、磯野道造(東京山の手)、野口 忠(東京町田)、石黒 康(東京五反田)、山森大七郎(東京御茶ノ水)、飯野公一(東京城西)、子安敏三・中田久士(以上東京南)
- ゲスト1名 李承福君(米山奨学生)

次週予告 11月13日 第584回例会

卓話予定 イニシエーションスピーチ

「外為法改正と個人の資産運用戦略」

当クラブ会員

(株)アイ・エイチ・エー代表取締役 石川 泰啓君

10月30日/10件 32,000円

98～99年度累計 686,000円

多額のご寄付を有難うございます。

(順不同敬称略)



福島賢哉/お誕生日祝ありがとうございます。相澤成憲/昨日、秋の園遊会にお招きを受けていって参りました。宮本正祥/開発さん本日はお世話になります。開発英基/本日の工場見学お待ちしております。平井逸夫/品川信用組合護受けに伴う重要会議が毎週金曜日に重なり、例会を長らく欠席し大変ご迷惑をおかけしました。宮武保義/土屋さん先日はどうも有難うございました。大日方真/先週の例会欠席してご迷惑おかけしました。馬場一廣/山川さんのニコヤカなお顔を拝して。山下忠治/山川さんニコニコ担当ご苦労さまです。山川政樹/本日は所用のため早退します。

2000～2001学年度 国際ロータリー第2750地区

ロータリー財団国際親善奨学生募集について

ロータリー財団委員長 高橋 良士

国際ロータリー第2750地区は、2000～2001学年度ロータリー財団奨学生候補の募集を次の要項に従って行います。

目的

国際ロータリーのロータリー財団国際親善奨学生は、奨学生が海外において1学年又はマルチ・イヤー(2学年又は3学年)の期間、勉強並びに社会生活をするることによって、国際理解と親善友好に寄与するためのものです。

奨学金の種類等

大学院課程が対象で、奨学金年度が始まるまで(2000年7月1日)に大学過程を終了した者でなければなりません。募集人数は約10名です。

資格

留学国の言語に熟達し、それにより講義を理解し、講演し、報告書を作成することが出来る必要があります。さらに、

(イ) 2750地区内に本籍又は現住所があること。

(ロ) 応募時に2750地区内に所在する教育機関に在学するか、或いは同地区内の職場に勤務していること。

※ロータリアンの子供、孫及びその配偶者などロータリー関係者には申請資格はありません。

申込締切 1999年1月22日(金)

資格その他の詳細については委員にお問い合わせ下さい。

富士ゼロックス(株)海老名事業所見学会

10月30日(金)13:10～18:00

環境保全、職業奉仕、親睦活動の3委員会合同で去る10月30日の例会後、会員23名と米山奨学生李承福君が参加して上記見学会が行われました。

開発と生産の拠点である海老名事業所では、まず樋口工場長の挨拶とクロズド・ループシステムの説明があり、引き続いて田上総務部長より、社会的な環境保全の取組みと事業所の紹介がありました。この基本的環境保全の理念と目標は、第1に工場から出る産業廃棄物をリサイクルしてゼロにする事、更に第2に、回収されて来た複写機を分解、修理、サブ組立などの工程を含む一元化生産を構築し、商品のリサイクルを行い、新品として客先に再度提供することです。

1971年操業開始した海老名事業所では1980年にデミング賞を受賞、更にISO9002、及び9001(品質管理の優れた工場に対する国際的な認定)を取得、そしてリサイクルラインを操業開始した1997年にはISO14001(同上、環境管理に対して)も取得するなど、その品質管理と環境管理の推進は常に日本の産業界のトップレベルにあたります。

海老名事業所(敷地16万㎡)の東の端に「分ければ資源」の表示が書かれた、産廃のリサイクルセンターがあります。ここでは事業所内で18種類に分別したゴミをさまざまなリサイクル製品に生まれ変わらせています。これらの製品の中には、再生コピー用紙、庭園に使用する杭桂や、附近の住民に無料で提供している生ゴミを再生した肥料などもあります。又、使用された工場用水は浄化され、それを管理するかのように、貯水池には錦鯉が元気に泳ぎ回っていました。本年度の産業のリサイクルは98.7%まで到達し目標に限りなく近づいているとの事です。

商品のリサイクルに関しては、ワンモアライフ(もう一世代)利用の保証が可能な部品を選定し、再組立てを行い新造品と同等の厳しい品質保証のもとに、新たな商品として活用されています。

このような資源保存を確立するために、製品の設計には「3R活動」の理念を軸としています。これは廃棄ゼ

ロにするための「限りなくリユース可能な設計、RECYCLABLE、「限りなく回収するシステム」、RETURNABLE、「限りなく使いきる生産」REUSABLEです。

ビデオによる説明を含む2時間の工場見学もあつと言う間に終わり、16時50分に反省会と親睦会を行う横浜中華街に向かって海老名事業所を後にしました。

この事業所では建設時に弥生時代と鎌倉時代の遺跡が数々発掘され、国により保存されております。冒頭に井澤総務部次長が、「土地や環境は先祖からいただいたと言う物ではなく、子孫から預かっている物です」との発言に感銘しましたが、この由緒ある土地の上で操業し、その環境の保護に熱心に取り組んでいる海老名事業所は、弥生時代と子孫を結ぶ大変ロマンに満ちた工場であるなど感じました。

今回の企画をしていただいた開発会員に感謝します。

(宮本記)

参加者(敬称略・順不同) 青野、馬場、福島、入沢、開発、梶内、加藤、河原、川鍋、宮本、宮武、村山、大日方、大山、柴本、柴田(尚)、高須、武下、谷村、渡部、山下、吉岡、金光、李承福(米山奨学生)

横浜中華街「順海閣」にての親睦会

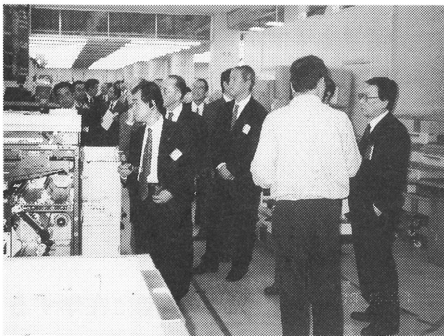
10月30日(金)18:00～20:30

懇親会では…

美しい絵画や音楽を鑑賞した後のような爽やかな感銘を乗せて、バスは定刻に横浜中華街大駐車場に到着。今日の懇親会会場は、宮本奉仕委員長のご学友呉羽明成氏経営の順海閣である。呉羽社長以下従業員一同の熱烈歓迎を受け、宮武会長のご挨拶、乾杯のご発声で開宴。

ご所用で懇親会にご欠席の金光会員の代りに、大村、佐々木、高橋会員、事務局山中さんも合流され、総勢27名が3卓に分かれ、燕の巣をはじめ山海の珍味の広東料理に舌鼓を打ち、本場紹興酒を堪能した。各卓とも、勉強したばかりの職業奉仕、環境保全、ロータリークラブの在り方から国際問題や経済不況さらには趣味娯楽まで、話題豊富、談論風発、抱腹絶倒。良き友、良き酒、良き食の2時間だった。閉会后送迎バスに乗らず、横浜湾星棒球団優勝の興奮醒めやらぬ紅灯の街に繰り出した会員のその後の消息は不明。

(梶内記)



東京新南ロータリークラブ

会長：宮武保義 副会長：小瀧雅亮 幹事：大日方真
〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階
TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004
例会日：毎週金曜日 12時30分
例会場：東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111

<会報委員>

田中 武、小杉 眞史、小原 渉、
開発 英基、柴田 尚毅、大山 啓人、
T. CONSIGNY、水原信太郎、谷 義一、
金光 圭一、大村 富俊、村山 公士
(編集担当順)